

令和7年度

入学者募集要項



山形県立新庄神室産業高等学校

〒996-0051 新庄市大字松本370番地

TEL (0233) 28-8775 (第1職員室)
28-8777 (事務室)

FAX (0233) 22-7111

URL <http://shinjokamuro.jp>

目 次

I	設置課程・学科・入学定員及び入学者の受入れに関する方針	……	p 1
II	本校の概要	……	p 1
III	入学者選抜についての様式及び記入上の注意	……	p 2
IV	推薦入学者選抜	……	p 3
V	一般入学者選抜	……	p 6
	とじこみ		
	推薦入学願書		
	自己推薦書		
	一般入学願書		
VI	資 料		
1	令和6年度入学者の諸会費並びに諸経費（参考）	……	p 1 1
2	令和5年度卒業生の進路状況	……	p 1 1
3	令和7年度入学生 教育課程	……	p 1 2
4	令和7年度山形県公立高等学校入学者選抜日程（抜粋）	……	p 1 3

I 設置課程・学科・入学定員及び入学者の受入れに関する方針

山形県教育委員会の公告に基づき、「令和7年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」にしたがって次のとおり入学者を募集する。

課程	学 科	入学定員	入学者の受入れに関する方針
全日制	食料生産科	40名	(1) 農業・工業・商業分野に関する興味を持ち、意欲的に学習する生徒を募集します。
	農産活用科	40名	(2) 専門的な知識や技術の習得および課題解決学習に、主体的に取り組む生徒を募集します。
	機械電気科	40名	(3) 地域振興・地域活性化に取り組む意志を持ち、専門学科での学びを生かして、社会に貢献する意欲のある生徒を募集します。
	環境デザイン科	40名	(4) 向上心があり、ルールやマナーを守る規範意識の高い生徒を募集します。
	ビジネス創造科	40名	(5) 他者に対する思いやりの心を持ち、仲間と協力して高校生活を送る意欲ある生徒を募集します。

II 本校の概要

1 教育目標

本校では、次のような人間を育成することを目標としています。

- (1) 幅広い知識と技術を身に付け、地域社会と産業の発展に寄与する人間の育成
- (2) 柔軟な思考とたゆまぬ実践により、真理を探究する人間の育成
- (3) 個性を尊重し、豊かな感性と創造性に富む人間の育成
- (4) 心身ともに健全で、正義感あふれるたくましい人間の育成

2 学校の特徴

- (1) 農業2学科、工業2学科、商業科1学科からなる農工商一体型の専門高校です。
- (2) 新庄・最上地域や日本の産業を支えるために、人間性と知性が輝き、創造力に富んだ人材の育成に全力をあげて取り組んでいます。
 - ① 専門高校ならではの恵まれた施設と設備のもと、実物や実際の現場に触れながら、探究的に学ぶことができます。
 - ② 農工商一体型の特徴を活かし、所属科以外の科目を学ぶことができ（総合選択制）、興味・関心や進路希望に合わせたコース選択や選択科目を設定し、多様な進路選択に対応した教育を行います。
 - ③ 体育祭、学校祭などの多彩な学校行事や部活動、ボランティア活動を通して友達との絆や自信を深めることができます。
 - ④ 農業科におけるプロジェクト発表会、意見発表会、工業科におけるものづくりコンテスト、サーベイコンテストなどの各種大会・コンクール、商業科における簿記競技大会、商業研究大会などの取り組みを通して、専門性の向上と挑戦する意欲を高めることができます。
- (3) 地元企業でのインターンシップ、企業見学や現場見学、資格取得などを積極的に進めるとともに、教員による地元企業研修会を行い、就職率100%を目指します。
- (4) 大学等への進学志望者や公務員希望者など多様な進路目標の達成を目指し、個に応じた指導を早期から実施しています。
- (5) 地域と積極的な交流を図るとともに、地域の活性化に貢献する学校づくりに努めています。

3 本校の令和7年度入学生の学科構成について

	学 科 名	各学科での目標	コ ー ス
農 業	食 料 生 産 科 (40名)	農業の生産分野から、情報化・ブランド推進に関連する技術を身につけた人材を育成します。	
	農 産 活 用 科 (40名)	農産加工や食品製造など、農業を人間生活に利活用できる技術を身につけた人材を育成します。	
工 業	機 械 電 気 科 (40名)	機械・電気分野に関する知識を身につけ、人間生活を支える技術の製造・保全に携わる技術者を育成します。	機械 電気
	環 境 デ ザ イ ン 科 (40名)	都市施設や建築空間の創造に携わり、持続可能な社会の形成に貢献する人材を育成します。	土木 建築
商 業	ビ ジ ネ ス 創 造 科 (40名)	生産者と消費者をつなぐ新たなビジネスを創造し、産業界の健全で持続的な発展に関わる人材を育成します。	簿記会計 ビジネス経済

4 諸会費並びに諸経費

後述の「VI資料」をご覧ください。

5 合格者に対する制服等の採寸

- (1) 日 時 令和7年3月20日(木) 午前10時から午後2時まで。
- (2) 場 所 新庄駅「ゆめりあ」2階 会議室
- (3) その他 詳細については、合格通知書とともに送付する文書で連絡します。

6 合格者説明会

- (1) 日 時 令和7年3月25日(火) 午後1時30分から午後2時30分まで。
- (2) 場 所 本校 体育館
- (3) その他 詳細については、合格通知書とともに送付する文書で連絡します。

Ⅲ 入学者選抜についての様式及び記入上の注意

- 1 入学者選抜に関する書類の様式及び記入上の注意は、「令和7年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」による。
- 2 一般入学願書、推薦入学願書、自己推薦書については、本冊子とじこみの用紙を使用すること。
- 3 自己申告書については、進路等相談を踏まえ、本校校長が提出を認めた場合に配布する。

IV 推薦入学者選抜

1 志願資格

次の各号に該当する者

(1) 令和7年3月に県内の中学校、これに準ずる県内の学校又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。

ア 当該学科の学習に対する強い志望があり、目的意識が明確・適切であること。

イ 当該学科に対する適性、興味及び関心を有すること。

ウ 本校が定める出願要件を満たしていること。

出願要件

1 キャリア形成に係る要件

農業科（食料生産科・農産活用科）

農畜産物の栽培・飼育から流通・販売、IoT技術の利活用に関する学習や、園芸作物の栽培や農産物の加工利用、地域農業資源の活用に関する学習に興味・関心があり、志望の動機や目的意識が明確で、将来、職業人として、率先して地域や産業を支え、貢献しようとする意志を持つ者。

工業科（機械電気科・環境デザイン科）

機械・電気分野におけるものづくりからメンテナンスに関する学習や、自然環境や景観に調和し、人々が安全に暮らせるまちづくりに関する学習に興味・関心があり、志望の動機や目的意識が明確で、将来、職業人として、率先して地域や産業を支え、貢献しようとする意志を持つ者。

商業科（ビジネス創造科）

流通、経済、会計、及び情報に関する学習に興味・関心があり、志望の動機や目的意識が明確で、将来、職業人として、率先して地域や産業を支え、貢献しようとする意志を持つ者。

2 成績評定概況に係る要件

評定合計が27以上の者

3 特別活動等に係る要件

次の（1）または（2）に該当する者

（1）生徒会活動に積極的に取り組み、生徒会役員（生徒会長・副会長・議長・応援団長）としてその充実に努めた者

（2）中学校3年間の部活動において、以下のいずれかに該当する者

① 地区大会において入賞（賞状が授与された入賞）したうえで県又はブロック大会に出場した者、あるいは県大会以上の大会に出場し、入賞や入選（賞状が授与された入賞や入選）を果たした者

※団体種目は大会にエントリーした者

② ①のような実績がなくとも、県優秀選手や県強化選手に指定された者

③ 部長・副部長として活躍した者

4 校外活動に係る要件

次の（1）または（2）に該当する者

（1）校外のボランティア活動団体や地域活動等の団体に所属し、継続的に活動した者

（2）校外におけるスポーツ活動、文化活動において、「3 特別活動に係る要件（2）」に該当する者

5 その他

次の（1）または（2）に該当する者

（1）次の検定試験のいずれかにおいて3級以上を有する者

日本漢字能力検定、実用数学技能検定、実用英語技能検定、珠算検定

（2）学校説明会や個別相談会等に参加した者

「キャリア形成に係る要件」と、それ以外の要件のいずれか一つ以上に該当する者

(2) 合格した場合は、入学が確約できる者。

2 募集する学科と人員

課 程	学 科	募集人員
全日制	食 料 生 産 科	入学定員の30%以内
	農 産 活 用 科	入学定員の30%以内
	機 械 電 気 科	入学定員の30%以内
	環 境 デ ザ イ ン 科	入学定員の30%以内
	ビ ジ ネ ス 創 造 科	入学定員の30%以内

3 出願手続

(1) 志願は、1人1学科とする。

(2) 出願に必要な書類

① 推薦入学願書

願書には、入学者選抜手数料として、2,200円の山形県収入証紙を貼る。ただし、消印はしないこと。

② 自己推薦書

③ 調査書

④ 自己申告書

進路等相談を踏まえ、本校校長が提出を認めた場合。

⑤ 評定概況

中学校長は、本校校長に1部提出する。

(3) 受付期間

① 令和7年1月20日(月)から1月24日(金)

② 受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。(24日は正午まで)

(4) 提出先

山形県立新庄神室産業高等学校

〒996-0051 新庄市大字松本370番地

(5) 提出要領

① 中学校長は、志願者名を記した公文書を添えて、本校校長あてに提出する。

② 郵送の場合でも締切日時までに必着とする(郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手460円分[郵送料110円及び簡易書留料金350円分]を貼った出願者本人の在籍中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封する)。

4 作文及び面接

推薦入学志願者には、作文及び面接を次の要領で実施する。

(1) 日 時 令和7年2月3日(月)午前8時40分 集合(開場時刻 午前8時10分)

(2) 会 場 本校

(3) 作 文

① 時間 50分

② 字数 600字程度

(4) 面 接

① 形態 個人面接

② 時間 10分程度

- (5) 携帯品 受検票、鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム、上履き、外履きを入れる袋
- ※① 鉛筆（シャープペンシルを含む）の芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
 - ※② 下敷きの使用は認めない。
 - ※③ 連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。
- (6) 作文の評価の観点
- ① テーマに対して適切に述べている
 - ② 本人の考え・主張が明確である
 - ③ 文章の構成が優れている
 - ④ 誤字・脱字がなく文章表現が適切である
- (7) 作文の評価の段階
- A B C D Eの5段階
- (8) 面接の評価の観点
- ① 目的意識をしっかりと持っている
 - ② 積極性・向上心が大きいにある
 - ③ 所作・対応が優れている
 - ④ コミュニケーション能力が優れている
- (9) 面接の評価の段階
- A B C D Eの5段階

5 選 抜

選抜は、調査書、面接、作文等の結果を総合して行う。

なお、本校の選抜規準と配点比率は次のとおりとする。

調査書（学習の記録）30：調査書（学習の記録以外）30：面接20：作文20

6 選抜結果の通知

令和7年2月10日（月）中学校長あて必着で「推薦入学者選抜結果通知書」を送付する。また、合格内定者には中学校長を通じ「合格内定通知書」を送付する。ただし、合格者の発表は、令和7年3月17日（月）午後4時（予定）に行う。

7 その他

- (1) 本校の学区は、全県1学区である。
- (2) 推薦入学者選抜に漏れた者で、引き続いて本校の一般入学者選抜を志願する者は、新たに一般入学願書の提出が必要となる。ただし、入学者選抜手数料の納付は要しない。また、他の高等学校への志願変更を希望する場合の手続きについては、「令和7年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」による。

V 一般入学者選抜

1 志願資格

本校に志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 令和7年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で、令和7年度推薦入学者選抜、中高一貫教育における連携型入学者選抜及び前期（特色）選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

2 出願手続

(1) 出願に必要な書類

① 一般入学願書

ア 願書には、入学者選抜手数料として2,200円の山形県収入証紙を貼る。ただし、消印はしないこと。

イ 第3志望まで認める。

② 調査書

③ 自己申告書

進路等相談を踏まえ、本校校長が提出を認めた場合。

④ 評定概況

中学校長は、本校校長に1部提出する。ただし、県外からの志願者及び特別支援学校、令和5年度以前の卒業生からの志願者については、提出を要しない。

(2) 受付期間

① 令和7年2月17日（月）から2月21日（金）

② 受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。（21日は正午まで）

(3) 提出先

山形県立新庄神室産業高等学校

〒996-0051 新庄市大字松本370番地

(4) 提出要領

① 郵送の場合でも締切日時までに必着とする（郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封する）。

② 出願に必要な書類は、「一般入学者選抜志願者名簿」を添え、在籍又は出身中学校長を經由して本校校長あてに提出すること。なお、推薦入学者選抜に漏れた者で、一般入学者選抜を志願する者については、「一般入学者選抜志願者名簿」に含めて記入し提出する。

③ 調査書、評定概況及び自己申告書については、推薦入学者選抜の志願にかかわって提出済の場合、提出を要しない。

④ 志願者に聴覚障がい者がいる場合、中学校長は、「聴力レベル（dB）」及び学力検査において配慮を必要とする事項を、志願者名を記した公文書に記入すること。

⑤ 取消しや締切り前の志願変更は、必ず公文書を添えて行う。

⑥ 高等学校に在学のまま志願する者は、在籍高等学校長の志願承諾書を添付する。

⑦ 県外又は外国からの志願については、「令和7年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」による。

3 学力検査

- (1) 検査日時 令和7年3月7日(金) 午前8時15分集合(開場時刻 午前7時45分)
- (2) 検査会場 本校
- (3) 検査教科及び日程

時 間	教 科
8:50 ~ 9:40	国 語
10:00 ~ 10:50	数 学
11:10 ~ 12:00	社 会
12:50 ~ 13:40	理 科
14:00 ~ 14:50 (14:00から約10分間はリスニングテスト)	外 国 語 (英 語)

- (4) 検査教科の配点

国語、社会、数学、理科、外国語(英語) 各100点

- (5) 受検者の携帯品

- ① 受検票
- ② 筆記用具(鉛筆、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削りのみとする)
 - ア 鉛筆はシャープペンシルを含む。
 - イ 鉛筆・シャープペンシルの芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
 - ウ 定規は、三角・直定規のいずれでもよい。ただし、分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。
 - エ 公式や法則等の書いてある筆記用具を持参してはならない。
 - オ 上記以外の使用は認めない。また、下敷きの使用は認めない。
- ③ 昼食
- ④ 上履き
- ⑤ 外履きを入れる袋
- ⑥ 聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。
- ⑦ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類、その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。
- ⑧ 連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。

4 選 抜

選抜は、調査書及び学力検査の成績等に基づき、本校の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力、適性等を判定して行う。また、調査書中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は、5:5とする。

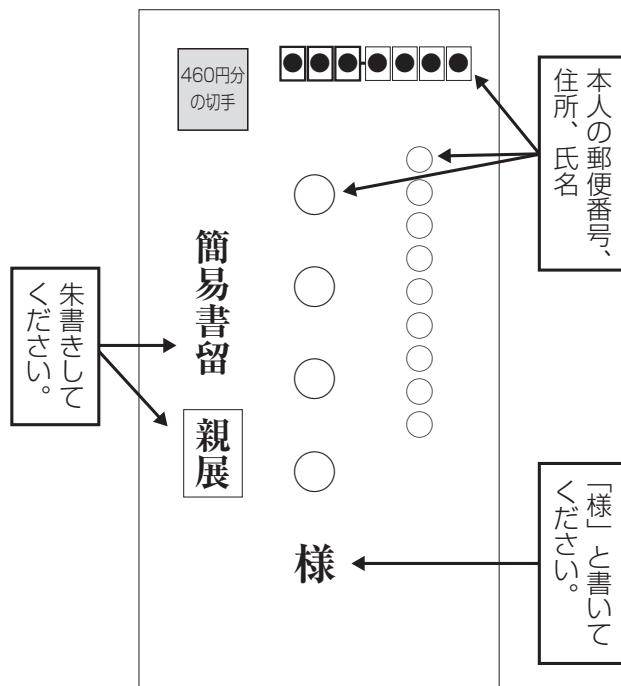
5 合格発表

- (1) 日 時 令和7年3月17日(月) 午後4時(予定)
- (2) 場 所 本校 正面玄関
- (3) 方 法 Webによる公開と掲示による発表を行う。ただし、Webへのアクセス方法については、後日、受検票とともに送付する。また、合格者へ「合格通知書」を送付する。

6 個人情報の提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、合格発表後郵送により行う。

個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望の欄の有を○で囲み、返信用定形長3号封筒（簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上親展扱いとし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円〕を貼ったもの）を提出すること（下記参照）。



(封筒の記載例)

7 追検査

(1) 対象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査(以降、本検査という)の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受検の手続

追検査の受検を希望する者は、次の①～②の連絡等を行う。

- ① 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。
- ② 上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日までに在籍又は出身中学校長に提出する。

(3) 追検査の内容及び日時等

- ① 学力検査について
内容は上記「3 学力検査」に準ずる。
- ② 検査日時
令和7年3月12日(水) 学力検査(時間は本検査に同じ)
- ③ 検査会場
本校

- (4) 追検査の選抜における取扱い
追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

8 その他

(1) 志願について

- ① 公立高校への志願は1人1校とする。
- ② 本校の学区は、全県1学区である。

(2) 国立諸学校に合格した志願者の取扱い

- ① 在籍又は出身中学校長は、令和7年3月4日(火)12時までに、国立諸学校への入学の諾否を本校校長に対して、文書によって報告すること。その際、合格した国立諸学校に入学する者については、本校の受検票を添付すること。なお、令和7年3月3日(月)において、合否が未定の場合は、諾否の記載欄に「未定」と記載すること。

- ② 国立諸学校に合格し入学する旨報告のあった志願者については選抜から除外する。

- (3) 上記に記載のない事項については「令和7年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」にしたがって行う。

山形県収入証紙
(消印無効)

推薦入学願書

令和 年 月 日

山形県立新庄神室産業高等学校長 殿

ふりがな	
本人氏名	
保護者氏名	

貴校全日制の課程

科に入学を志願いたします。

本	生年月日	平成 年 月 日	保護者 現住所	
	現住所			
人	在学 籍校		備考	
	卒業見込 年 月	令和 年 月 卒業見込		

(注) 推薦入学願書・受検票記入上の注意

- ペン書き又はボールペン書き（青色又は黒色）で本人が記入する。
- 保護者氏名は保護者が記入する。
- 現住所は、丁目・番・号、大字・字・番地まで正確に記入する。
- 現住所について、住民票に記載されていないアパート名等がある場合は、備考欄に記入する。
- 保護者の現住所が本人と同じ場合、「本人に同じ」と記入する。
- 合格通知を受けようとする場所は、原則として現住所とする。現住所と異なる場合は、備考欄にその住所を記入し、記入する事項のない場合は、右上がりの斜線を引く。

受検番号

印

推薦入学者選抜 受検票

受検番号

山形県立新庄神室産業高等学校 氏名
学校名

校長 齋藤潤弥 印

受検番号

自己推薦書

令和 年 月 日

山形県立新庄神室産業高等学校長 殿

学校名

本人氏名

私は、以下により、貴校全日制の課程

科への入学を志願いたします。

1 志願の理由(キャリア形成に係る要件)

Blank area for writing the reasons for the application, with a diagonal line from the bottom-left to the top-right.

2 キャリア形成に係る要件以外の出願要件

下記の要件の中で該当するすべてに○を付けなさい。

2 成績評定概況に係る要件
() 評定合計が27以上の者

3 特別活動等に係る要件 次の(1)または(2)に該当する者
() (1) 生徒会活動に積極的に取り組み、生徒会役員(生徒会長・副会長・議長・応援団長)としてその充実に努めた者
() (2) 中学校3年間の部活動において、以下のいずれかに該当する者
() ① 地区大会において入賞(賞状が授与された入賞)したうえで県又はブロック大会に出場した者、あるいは県大会以上の大会に出場し、入賞や入選(賞状が授与された入賞や入選)を果たした者
※団体種目は大会にエントリーした者
() ② ①のような実績がなくとも、県優秀選手や県強化選手に指定された者
() ③ 部長・副部長として活躍した者

4 校外活動に係る要件 次の(1)または(2)に該当する者
() (1) 校外のボランティア活動団体や地域活動等の団体に所属し、継続的に活動した者
() (2) 校外におけるスポーツ活動、文化活動において、「3 特別活動に係る要件(2)」に該当する者

5 その他 次の(1)または(2)に該当する者
() (1) 次の検定試験のいずれかにおいて3級以上を有する者
日本漢字能力検定、実用数学技能検定、実用英語技能検定、珠算検定
() (2) 学校説明会や個別相談会等に参加した者

留意事項：ペン書き又はボールペン書き(青色又は黒色)で本人が記入すること。

自己推薦書記入上の注意

自己推薦書は、あなたが志願する学科での学習への強い志望や意欲があるかどうかを確認することを主な目的として提出するもので、面接において、志願者の志望動機等を確認する際の資料として用います。また、出願要件に合致していない場合は出願できません。

1 志願の理由(キャリア形成に係る要件)の記入について

志望する学科に対する志願動機や目的意識、興味・関心を持っていることなどについて記入してください。

2 キャリア形成に係る要件以外の出願要件の記入について

枠の中には、あなたが志願する学科のキャリア形成に係る要件以外の出願要件が示されています。説明をよく読んで該当するすべてに○を付けてください。

〔注意〕

- (1) 募集要項で出願要件を確認すること
- (2) (1)の際、特に成績評定概況に係る要件や特別活動に係る要件などが出願要件に合致しているか、在籍の中学校をとおして確認すること

3 記入上の留意点

- (1) 必ず本人が記入してください。
- (2) ペン又はボールペンで記入してください。
- (3) インクの色は青色か黒色を使用してください。
- (4) 誤りを訂正する際は、その部分に二重線を引き、上部にあらためて記入してください。

山形県収入証紙
(消印無効)

一般入学願書

令和 年 月 日

山形県立新庄神室産業高等学校長 殿

ふりがな	
本人氏名	
保護者氏名	

貴校全日制の課程

第1志望		科
第2志望		科
第3志望		科

に入学を志願いたします。

(注) 第2志望及び第3志望がない場合は右上がりの斜線を引く。

本人	生年月日	平成 年 月 日	保護者 現住所	備考
	現住所	〒		
	出身(在籍) 学 校			
	卒 業 (卒業見込) 年 月	平成 年 月 卒業 令和 年 月 卒業見込 (いずれかを○で囲むこと)		
※ 郵送による個人情報(学力検査の教科別得点)の提供希望 有 (個人情報の提供を希望する場合は○を付ける)				

(注) 一般入学願書・受検票記入上の注意

- ペン書き又はボールペン書き(青色又は黒色)で本人が記入する。
- 保護者氏名は保護者が記入する。
- 現住所は、丁目・番・号、大字・字・番地まで正確に記入する。
- 現住所について、住民票に記載されていないアパート名等がある場合は、備考欄に記入する。
- 保護者の現住所が本人と同じ場合、「本人に同じ」と記入する。
- 合格通知を受けようとする場所は、原則として現住所とする。現住所と異なる場合は、備考欄にその住所を記入し、記入する事項のない場合は、右上がりの斜線を引く。

受検番号

印

一般入学者選抜 受検票

受検番号

山形県立新庄神室産業高等学校

氏名

学校名

校長 齋藤潤弥 印

VI 資 料

1 令和6年度入学者の諸会費並びに諸経費（参考）

(1) 県に納入する経費

- ① 入 学 料 5,650円
- ② 授 業 料 118,800円（年額）

※ 就学支援制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。

(2) 学校に納入する経費

【毎月口座振替によって納入する経費（5月～11月まで7回に分けて納入）】

① P T A 会 費	6,720円	月当たり	960円
② 教育後援会費	15,960円	〃	2,280円
③ 生 徒 会 費	12,000円	〃	2,500円
			(9・10月1,000円、11月0円)
④ 修学旅行積立	49,000円	〃	7,000円
年 合 計	83,680円	月当たりの振替額	12,740円
			(9・10月11,240円、11月10,240円)

【入学時に納入する経費】

- ⑤ 学 年 経 費 45,000円程度（実習教材費、校外学習交通費、検定料等）

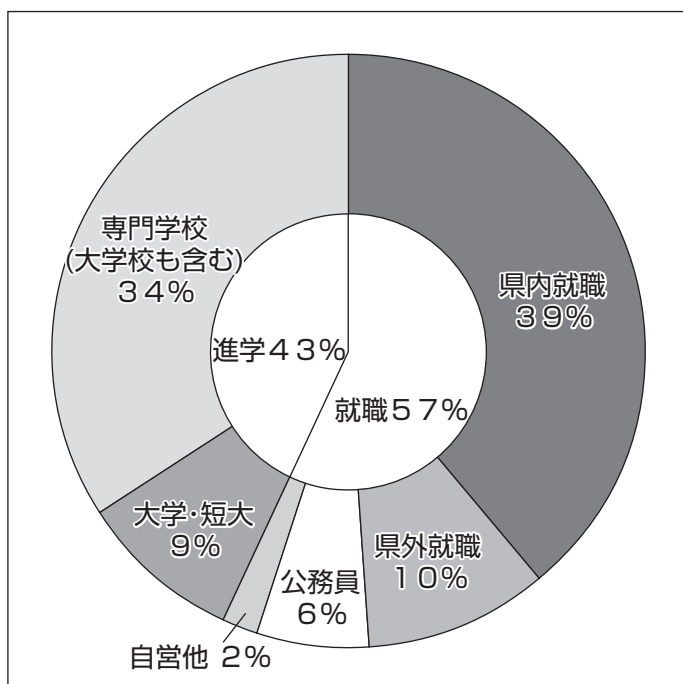
※ 所属学科、男女で若干異なります。

(3) 販売店に納入する経費（年度当初に購入するもの）

- ① 制 服 代 50,000円程度
- ② 教科書・副読本代等 20,000円程度
- ③ 学 用 品 等 45,000円程度（実習着、運動着、運動靴、各学科で必要なもの等）

※ 所属学科、男女で若干異なります。

2 令和5年度卒業生の進路状況



3 令和7年度入学生 教育課程

山形県立新庄神室産業高等学校

大学科	農 業			工 業			商 業	
	食料生産科	農産活用科	機械電気科	機 械	電 気	環 境 デ ザ イ ン 科	簿記会計	ビ ジ ネ ス 創 造 科
コース								
1 年	言語文化	数学Ⅰ	科学と人間生活	体育	農業、工業のみ	英語コミュニケーションⅠ	簿記会計	ビジネス経済
2 年	現代の国語	公共	生物基礎	農業・商業科のみ	物理基礎	英語コミュニケーションⅡ		芸術（商業のみ）
3 年	国語表現	地理総合	数学Ⅱ	体育	英語コミュニケーションⅡ			
	総合的な探究の時間							
1 必修	農業と環境 総合実習 農業と情報	農業と環境 総合実習 農業と情報	植物バイオテクノロジー	工業技術基礎 製 図 工業情報数理	工業技術基礎 製 図 工業情報数理	工業技術基礎 製 図 工業情報数理	ビジネス基礎 簿 記 情報処理	
2 必修	総合実習 農業と情報 作物 野菜	総合実習 農業と情報 草 花 食品製造	植物バイオテクノロジー	実 習 製 図 電気回路	実 習 製 図 電気回路	実 習 製 図 デザイン実践	総合実践 ソフトウェア活用	
2 選択	畜 産 菌類園芸	食品微生物 フラワーデザイン		機械工作 機械設計	電力技術 電子技術	土木構造設計 土木施工 建築構造 建築計画	財務会計Ⅰ 原価計算	マーケティング ビジネス・マネジメント
3 必修	課題研究 総合実習 果 樹 農業経営 農業機械	課題研究 総合実習 野 菜 食品製造 生物活用		課題研究 実 習 製 図	課題研究 実 習 製 図	課題研究 実 習 製 図	課題研究 総合実践 ビジネス・コミュニケーション ネットワーク活用	
3 選択	栽培と環境 地域資源活用	食品化学 地域資源活用		機械設計 原 動 機	電気機器 電力技術	土木基礎力学 土木施工 建築構造設計 建築施工	商品開発と流通 財務会計Ⅱ プログラミング	商品開発と流通 プログラミング
総合選択Ⅰ	文学国語	電気・電子概論	農業・商業科のみ選択可	商品開発と流通	農業・工業科のみ選択可	地域資源活用	工業・商業科のみ選択可	商品開発と流通
総合選択Ⅱ	政治・経済	農業と情報	食品流通	工業管理技術	工業管理技術	工業環境技術	ネットワーク管理	商品開発と流通
総合選択Ⅲ	草 花	果 樹	農業・商業科のみ選択可	簿記	農業・工業科のみ選択可	農業概論	工業・商業科のみ選択可	フードデザイン
総合選択Ⅳ	論理・表現Ⅰ	草 花	農業・商業科のみ選択可	簿記	農業・商業科のみ選択可	植物バイオテクノロジー	工業・商業科のみ選択可	ビジネス法規
総合選択Ⅴ	食品製造	草 花	電子計測制御	電子計測制御	土木施工	建築施工	観光ビジネス	観光ビジネス

(注1) 3年の総合選択は、それぞれ共通科目、自身の所属する学科及び他学科の専門科目から1科目選択する。

4 令和7年度山形県公立高等学校入学者選抜日程（抜粋）

